

都道府県名

佐賀県

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	牛津町立牛津中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	4	0	10	20
生徒数	108	113	121	0	342	

研究の概要

1. 研究主題

「生きる力」を育む指導法の研究

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

全学年・全教科
 学力を向上させるには、各教科の取組に限らず、全学年全教科で身につけさせたい態度や基礎的な学力の研究を行い、3年間を通した全教職員での取組になるように研究を進めていきたいと考えている。

(2) 年次ごとの計画

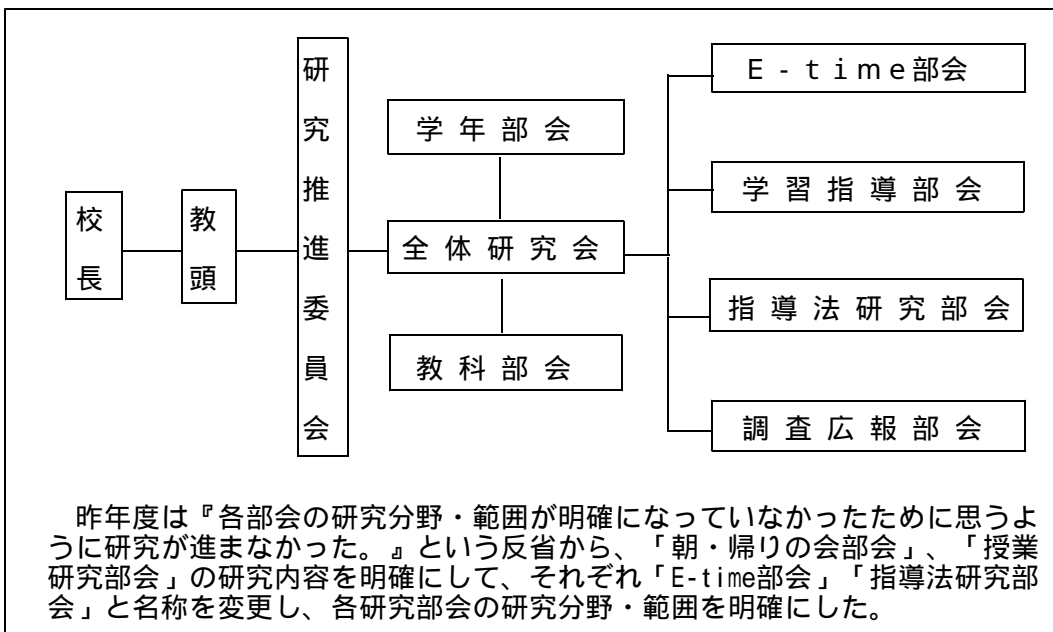
平成14年度	<p>テーマ 確かな学力向上のために</p> <p>研究の見通し（仮説） 少人数による指導や興味関心を生かした個に応じた指導を行うことによって、確かな学力を育成できる。</p> <p>研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 理科、英語を中心に、基礎的・基本的な学習内容や応用的・発展的な学習内容において、少人数による指導など個に応じた指導の充実を図り、一人一人の生徒に確かな学力を育成する。 選択教科においても、国語、社会、数学を中心に基礎・基本的な学習指導を充実させ、生徒一人一人に応じた課題に取り組みさせることによって確かな学力を育成する。 総合的な学習の時間や選択教科において、一人一人の興味・関心を生かし、効果的な指導を実施することによって、生きる力の育成に努める。
--------	---

平成15年度	<p>テーマ 基礎的な学力を定着させるために</p> <p>研究の見通し（仮説） 学び方を身につけさせるとともに、学ぼうとする意欲を引き出す授業に取り組むことによって、基礎的な学力を定着させることができる。</p> <p>研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 各教科で基礎的な学力の定着を目指して、少人数による授業など、個に応じた授業の工夫に取り組む。 「授業での学び方」や「家庭での学び方」を指導することで、自ら学ぼうとする態度の育成に努める。
--------	---

- ・評価のあり方を工夫して、その評価をもとに学ぶ態度の育成に生かす方法を研究する。
- ・教育計画を見直して、行事の適正な配置を行い、ゆとりの中で学力向上への取組のための時間の確保を期す。

平成 16 年度	<p>テーマ 一人一人の学力を生かすために</p> <p>研究の見通し（仮説） 自ら学ぶ力を身につけさせることによって、基礎的な学力を生かして、発展的な内容や応用的な内容に取り組み、学力をさらに向上させることができる。</p> <p>研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科で授業のあり方や進め方を工夫して、生徒がより主体的に参加できる授業のあり方を研究する。 ・各教科のみでなく、総合的な学習の時間や選択教科、各行事など、学校の教育活動全般で、身につけた基礎的な学力及び学び方などを生かして自ら活動することのできる生徒の育成を目指す。
----------------	---

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

E-time部会においては、朝自習の時間に実施した『朝読書の徹底』では、1年を経過して朝読書が定着し、一日の始まりを落ち着いた雰囲気の中で迎えることができるようになった。

また、帰りの会に30分間の自学自習の時間「E-time」を各定期テストの前1週間に実施したところ、ほとんどの生徒が「分からなかった所を先生に質問することができて良かった。」「おかげでテストも成績が上がった。」とアンケートに回答しており、成果が現れつつあると思われる。

学習指導部会においては、定期テストごとに家庭向けに発行してきた「学習の記録」の様式を変更して、各教科ごとの重点課題や努力すべき点を記述するようにしたことで、生徒本人にとっても学習するポイントがわかりやすいようにした。

指導法改善部会においては、国語・数学・英語を中心に少人数授業を実施した。

生徒一人一人により行き届いたアドバイスができ、授業後のアンケートでも各学年とも80%以上の生徒が「授業がわかりやすい。」「質問しやすい。」と回答し、他の教科での実施も期待している。

2. 今後の課題

「E-time」では、「E-time」が設定されていないときの取組を工夫したり、習熟度を取り入れて、より個に応じた学習ができるように改善したり、さらに効果を上げる取組が必要である。

調査広報部会が実施したアンケート調査によると、家庭での学習習慣が定着しておらず、学習指導部会を中心に家庭学習の定着を図る取組を充実させていく必要がある。

少人数授業のあり方など、より効果的な指導法を研究していく必要がある。

学力把握のための学校としての取組

定期的な学力調査及び教研式標準学力検査の実施（年1回、年度当初）

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

第1回公開授業 10月10日（金） 国語 「TT授業」の工夫

第2回公開授業 12月12日（金） 英語 「少人数授業」のあり方

近隣の中学校で今年度からのフロンティアスクールの指定を受けた学校があり、公開授業の時期、情報・研究成果の交換など、協力して研究していく体制づくりを模索している。

- ~~~~~
- | | | | | |
|----------------------|---|--|--|---|
| 【新規校・継続校】 | <input type="checkbox"/> 15年度からの新規校 | <input checked="" type="checkbox"/> 14年度からの継続校 | | |
| 【学校規模】 | <input type="checkbox"/> 3学級以下 | <input type="checkbox"/> 4～6学級 | | |
| | <input type="checkbox"/> 7～9学級 | <input checked="" type="checkbox"/> 10～12学級 | | |
| | <input type="checkbox"/> 13～15学級 | <input type="checkbox"/> 16学級以上 | | |
| 【指導体制】 | <input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導 | <input checked="" type="checkbox"/> TTによる指導 | | |
| | <input type="checkbox"/> その他 | | | |
| 【研究教科】 | <input checked="" type="checkbox"/> 国語 | <input checked="" type="checkbox"/> 社会 | <input checked="" type="checkbox"/> 数学 | <input checked="" type="checkbox"/> 理科 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 外国語 | <input checked="" type="checkbox"/> 音楽 | <input checked="" type="checkbox"/> 美術 | <input checked="" type="checkbox"/> 技術・家庭 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 保健体育 | <input type="checkbox"/> その他 | | |
| | | | | |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | <input type="checkbox"/> 無 | |